

角館のお祭り

祭り一色に染められた3日間

9月7日から9日までの3日間、「角館のお祭り」で町中が熱気につつまれました。

今年のお祭りは、昨年同様に台風の接近による風雨に見舞われ昨年と比べ4万1千人減の20万2千人の人出となりました。（角館のお祭り実行委員会調べ）



角館のお祭りは、江戸時代から角館のみならず北仙北地域全体に支えられ、伝承されてきたものです。山車の組立から引き回し、飾山囃子や張り番など様々な行事、しきたりも含め、お祭りに関わる全体が国の重要無形民俗文化財「角館祭りのやま行事」として平成3年2月21日に指定されました。

18台の曳山が神明社、薬師堂参拝、佐竹北家上覧のため町内を練り歩き、道中でかち合うと、進行の優先権をめぐる交渉します。交渉が決裂したときは曳山をぶつけて、力づくで押し通す、これが「山ぶっつけ」です。今年も明け方まで若者のかけ声とお囃子の音が町中に響いていました。



平成17年度

「おやま囃子コンクール」結果

（主催：角館のお祭り保存会）

《囃子部門》

最優秀賞（角館のお祭り保存会長賞）

東部若者 秋桜会 代表 渡部昭二郎

優秀賞（角館町観光協会会長賞）

北部丁内若者 上檜木内鈴木組 代表 鈴木定平

優秀賞（仙北市商工会会長賞）

大塚若者 郷土芸能角館飾山囃子保存会 代表 佐藤正和

《手踊り部門》

最優秀賞（角館のお祭り保存会長賞）

北部丁内若者 上檜木内鈴木組 代表 鈴木定平

優秀賞（角館町観光協会会長賞）

岩瀬若者一同 加藤ミヨ社中 代表 加藤ミヨ

優秀賞（仙北市商工会会長賞）

七日町丁内 藤美会 代表 藤原美佐子

